

第3号様式（その4）

工場又は事業場の名称	ニホンハンダ株式会社 船橋工場
------------	--------------------

3 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

評価	計画年度の属する年度		
	平成29年度以前	平成30年度	令和1年度以後
A	目標年度の目標達成に向けて順調に進んでいる。	削減目標を達成できた。	計画年度の目標を達成できた。
B	目標年度の目標達成に向けて概ね順調に進んでいる(一部に課題がある。)。	削減目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)。	計画年度の目標を概ね達成できた(一部に課題がある。)。
C	目標年度の目標達成に困難な課題がある。	削減目標の達成に困難な課題がある。	計画年度の目標の達成に困難な課題がある。

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

平成27年度より排出量の削減の取り組みをより具体的に開始いたしました。 内容と致しましては揮発分の回収装置を導入し、それまでは揮発分のほぼ全てを排出していたのを、回収装置により再度使用する事が可能となりました。 従いまして、平成28年度、29年度につきましては削減率の目標を大きく上回る事が出来おりました。 平成30年以降は使用年数の経過とともに回収効率が若干落ちてきたため回収装置のメンテナンスを実施いたしました。しかしながら海外でのコロナ収束にともなう需要増が続いており削減率が目標には及びませんでした。 但し、回収装置のオーバーホールにより回収機能が工場したため、排出量自体は昨年度にくらべて大幅な削減が出来ております。 引き続き活動を続けて目標達成を実現致します。

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。